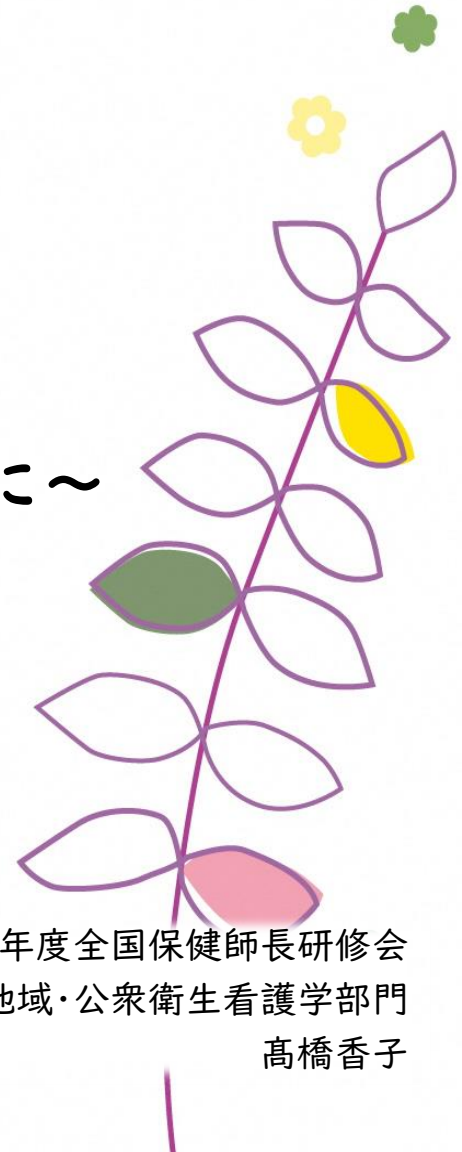




保健師活動の本質をみつめなおす
～繰り返す健康危機を乗り越えるために～



令和3年度全国保健師長研修会
福島県立医科大学 地域・公衆衛生看護学部門
高橋香子



保健師の社会的責任

- 保健師は、その始まりから今日に至るまで、常に、人々とともに疾病を予防し、人々が主体的に健康な生活ができるように支援してきた
- 健康な人も障害を抱えた人も地域で生活するすべての人々が「人として生きること・健康であること」が保障され、**誰もが安心して暮らせる地域**をつくることを使命としてきた
- 法制度に定められた保健事業をこなす人ではなく、地域で生活する人々のニーズに基づいて看護・保健活動を展開する看護専門職として存在する
- 公衆衛生、看護を基盤とした知識・技術を用いて、社会で生活する人々の健康の保持・増進と安寧という目的を達成するために、**社会に働きかける**という特徴を持つ
- 保健師活動は、**社会で生活する人々の健康増進を図る一方で、看護を基盤とした個別支援を行うとともに、個別ケアをしながら社会の健康づくりを行う**という看護の特徴がある



公衆衛生看護活動を担う保健師本来の活動

- 地区担当制に基づく地域保健活動の実践
- その根拠としての「**地域責任性**」とは
地域内に住むすべての人々の健康の保持・増進、疾病予防、
健康障害の回復など、**人々の健康を守る活動を責任を持って行うこと**
- 地域責任性を果たすために、
保健師は、**地域に出かけ、地域全体をみて、**
地域に働きかけ、地域住民を主体とする保健活動を実践する
- ◆ 個人だけでなく**家族を一体として支援すること**や**地区の状況にあわせた活動を展開することができる**



保健師に求められる視点

公平性

生活全体をとらえ生活者として支援する

個別支援と地域支援を連動させて考え活動を展開する

予防

連携・協働



地域全体を俯瞰する




働きかけの対象:

- ①実際に問題を抱えて困っている人々
- ②今のところ問題を抱えてはいないが、いつか問題が起きるかもしれないリスクを抱えている人々
- ③問題もリスクもなく現段階では健康で過ごしている人々
- ④支援者(社会資源)になりうる(なっている)人々

働きかけの方法:

フォーマル/インフォーマルな社会資源の活用
協働による課題解決



地域の健康に対応した**予防的介入**

対象

リスク（無/低）

リスク（有/高）

問題（有/重）

対策



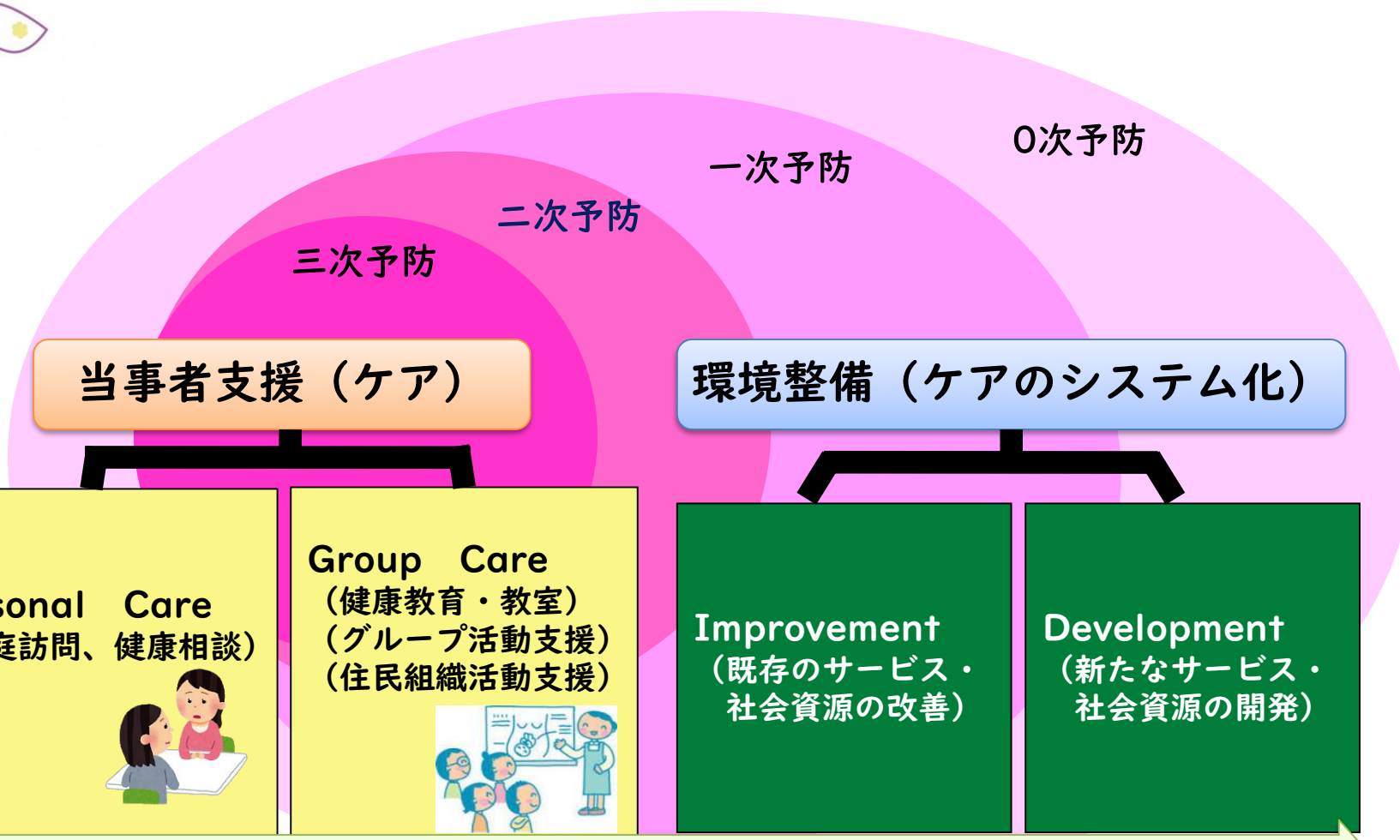
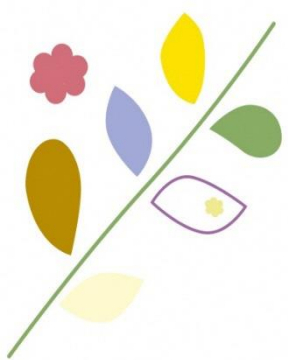
一次予防（健康増進）

二次予防（発症予防）

三次予防
（重症化予防）

0次予防（健康づくりの行動を助けるための環境づくり）

- ■ . ■ : ポピュレーションアプローチ
- ■ . ■ : ハイリスクアプローチ



地域全体へのケアと個別ケアとを連動させた活動
＝ポピュレーション/ハイリスクアプローチとを連動させた活動

協働による健康づくりの推進

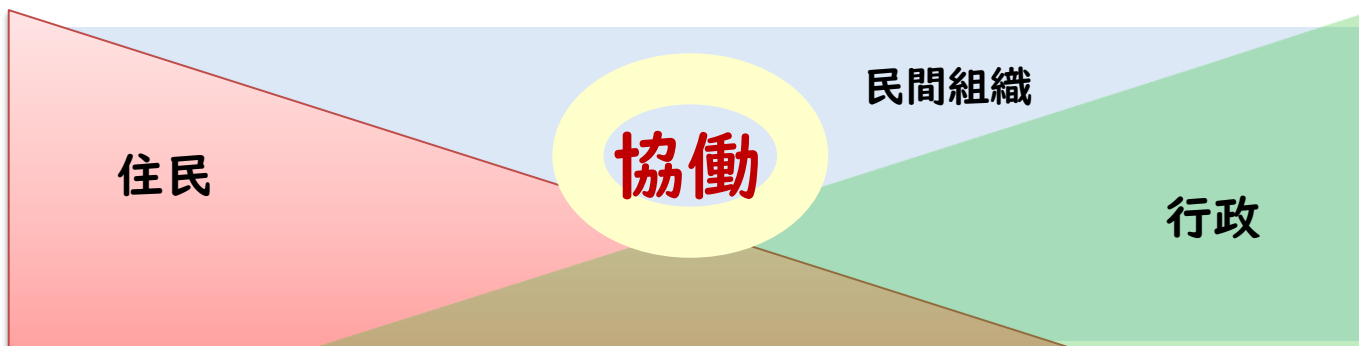
地域には健康にかかわる様々な問題があり、その背景・要因も複雑・多様性を帯びています
そのため、問題を解決するためには、行政でなければならないこと、住民でやる方が効果が大きいこと、一緒にやった方がいいことなど多様な取り組みが必要になります
健康問題の解決に向けて、**住民や組織をつなぎ、自助・共助などの住民主体の行動を引き出し、地域に根づかせる**という働きかけが重要になります

従来から保健師が社会に働きかける方法として行ってきた

地域のつながりや支え合い等の結びつきが強いと…

- ①健康に望ましい行動を促したり
- ②まとまりの良さが健康に良い環境をつくる力になったり
- ③安心して暮らせるようになり
- ④施策や制度のパフォーマンスが高まる

(Kawach & Berkman(2000):Social Cohesion,Social Capital and Health in London)



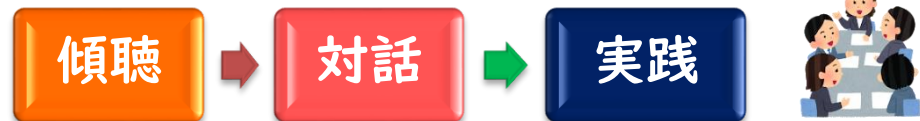
一人ひとりが
健康づくりに関心を持つこと
健康づくりに参加すること
健康づくりを続けること

地域での見守り、声かけ
地域ぐるみの子育て…など

専門的な支援、医療連携、
しくみづくり(ケアのシステム化)…など

協働で、考える・実行する・振り返る

- 人はもともと力のある存在です。しかし、何らかの影響を受けてパワーレスな状態になることがあります。健康危機下における人々の状態は、住民も保健師もまさにこの状態にあるといえます
- その状況を改善し、その人が本来持っているパワーを発揮できるようにすることが、健康危機下における様々な課題解決につながります
- 問題の所在、その背景や原因を探り、解決のための手立てを講じ、実践、評価して次のステップにつなげるという**一連のプロセスを協働する**ことは、問題解決だけでなく、協働した人々の間で分かり合う、期待しあう関係が育つということでもあります



- 「私」だけでなく「私たち」が**問題解決の当事者（主体者）**となるということでもあります
 - 活動の質が豊かになる
 - 他の健康課題解決への波及効果
 - 地域（コミュニティ）自体の対処力、問題解決力が高まる



健康危機に強い地域づくり・人づくり

従来の、本来の保健師活動を専門職としての矜持をもって実践すること
保健師として大切にしてきたことを大切にし続けること

